

第2回「よくする介護」実践連続講座 オープニング公開セミナー

と き：令和元年7月13日(土) 13:30~16:30 受付：13時00分~

会 場：大谷大学【1号館1113教室】定員200名

参加費：会員施設職員、福祉関係者、福祉を志す方 500円

*** 学生は無料**

介護は不自由なことを手伝うのではなく、「よくする」ことができるのです。「よくする」とは、利用者という「人」の「生きる」こと、すなわち、「生活機能」をよくすることです。「よくする介護」の理論と実践を体系化したのが「目標指向的介護」です。中略、なぜ介護職になろうとしたのか、それは「“介護を必要とする人”の“ためになろう”としたから」とおっしゃる方が多いと思います。“介護を必要とする人”のとらえ方、そして“ためになる”ということ、専門的に考え実践していきましょう。
(大川弥生先生の著書より)

この「よくする介護」実践連続講座では、介護職は、“「している活動」の専門家”として、介護の専門性を明確にし、「よくする介護」の実践を学び、その方法を会員施設間で共有することにより、市老協会員施設のケアの質の向上を目指しています。

連続講座開始に先駆け、オープニングとして大川弥生先生による公開セミナーを開催いたします。

会員施設職員以外の方、学生の皆さんも大歓迎です。

● 講 演：「よくする介護」～目標指向的介護の実践～

● 講 師：医師・医学博士 **大川弥生先生**

(元国立長寿医療研究センター生活機能賦活部部長)

【大川弥生先生の略歴】

佐賀県生まれ。久留米大学医学部大学院修了、医学博士

元東京大学助手、元帝京大学助教授、元国立長寿医療研究センター生活機能賦活研究部部長。

専門は、生活機能学、リハビリテーション医学、介護学。

【著書】

- ・目標指向的介護の理論と実際：本当のリハビリテーションとともに築く介護 2000.5中央法規出版
- ・新しいリハビリテーション：人間「復権」への挑戦 2004.2.講談社現代新書
- ・介護保険サービスとリハビリテーション：ICFに立った自立支援の理念と技法 2004.5中央法規出版
- ・「よくする介護」を実践するためのICFの理解と活用 目標指向的介護に立って 2009.7中央法規出版
- ・「動かない」と人は病む：生活不活発病とは何か 2013.5.講談社現代新書

お問い合わせ

一般社団法人京都市老人福祉施設協議会（市老協）事務局 担当 大庭
TEL: 075-354-8743 FAX: 075-343-6270

市老協 「よくする介護」プロジェクト
令和元年度 実践連続講座
オープニング公開セミナー

令和元年7月13日(土) 13:30~16:30 参加申込書

参加費：会員施設職員、福祉関係者、福祉を志す方…500円

＊学生は無料

所 属：

参加者氏名	職 種 ※学生の方は必ず「学生」とご記入下さい

ご記入の上、市老協事務局（343-6270）までFAXください。
市老協ホームページからも申し込みできます。

<学内案内図>

※駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください。

市老協



参加申込フォームはこちら⇒

申込締切 7月8日（月）

会場：大谷大学

【1号館 1113教室】

京都市北区小山上総町

（京都市営地下鉄烏丸線 国際会館行「北大路」駅上）

